

2021年度 小委員会活動成果報告

(2022年2月2日作成)

小委員会名	メーソンリー試験方法研究小委員会	主査名：千歩 修 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (組積工事運営委員会)	委員長名：橋高義典 主査名：川上勝弥
設置期間	2021年4月 ～ 2022年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>安全なCB塀を実現させるためには、新しい材料・試験方法等が必要と考えられ、その検討を行う。(大阪府北部地震等のCB塀の地震被害があり、安全なCB塀の設計・施工方法が必要である。このため、構造委員会壁式構造運営委員会の小委員会でCB塀の設計・施工マニュアルの作成が行われている。この小委員会の検討内容も参考とする)</p> <p>2021年3月まで設置されていた「メーソンリーユニット試験方法研究小委員会」の活動の継続も行う。</p> <p>初年度：上記内容の検討を行う。(本小委員会の設置期間は、1年間である。なお、具体的な試験方法等の検討が必要な場合、別の委員会の設置を検討する)</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：千歩 修(北海道大学) 幹事：青木孝義(名古屋市立大学) 委員：眞方山美保(国土技術政策総合研究所)、石井克侑(太陽エコブロック)、高橋和雄(太陽エコブロック)、根井 浩、長谷川直司(国土技術政策総合研究所)、三田紀行(三重大学)、守 明子(名古屋工業大学名誉教授)、青木 功(エスビック)、川上勝弥(小山工業高等専門学校)、井上芳生(INO建築構造研究室)	
設置WG (WG名：目的)		
2021年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5回(メール会議、年度内活動計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 安全なCB塀等に必要材料・試験方法について検討を行った。具体的な内容の検討については、2022年度から設置される「メーソンリー工法改良研究小委員会」で具体的な検討を行う。 2. 前年度までの小委員会の活動の成果を『技術報告集』および『北海道支部研究報告集』で発表した。
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ対策のため、すべてメール会議で行ったため、十分な検討が行えなかった。